

とくしま未来創造プラン (H23~26)

～徳島からの新たな挑戦～

【主な取組みとその成果】

至 鳴門JCT

至 徳島阿波
おどり空港

県道徳島空港線



四国横断自動車道
松茂スマートIC
～陸・海・空の結節点～

至 徳島IC

平成27年2月
徳島県

写真:NEXCO西日本提供

【目次】

1 「夢を支える経営体」づくり

2 「未来志向の財政構造」づくり

3 「新しい公共サービス」づくり ～新たな行革手法～

4 徳島発！「県民目線の処方箋」づくり ～連携・協働～

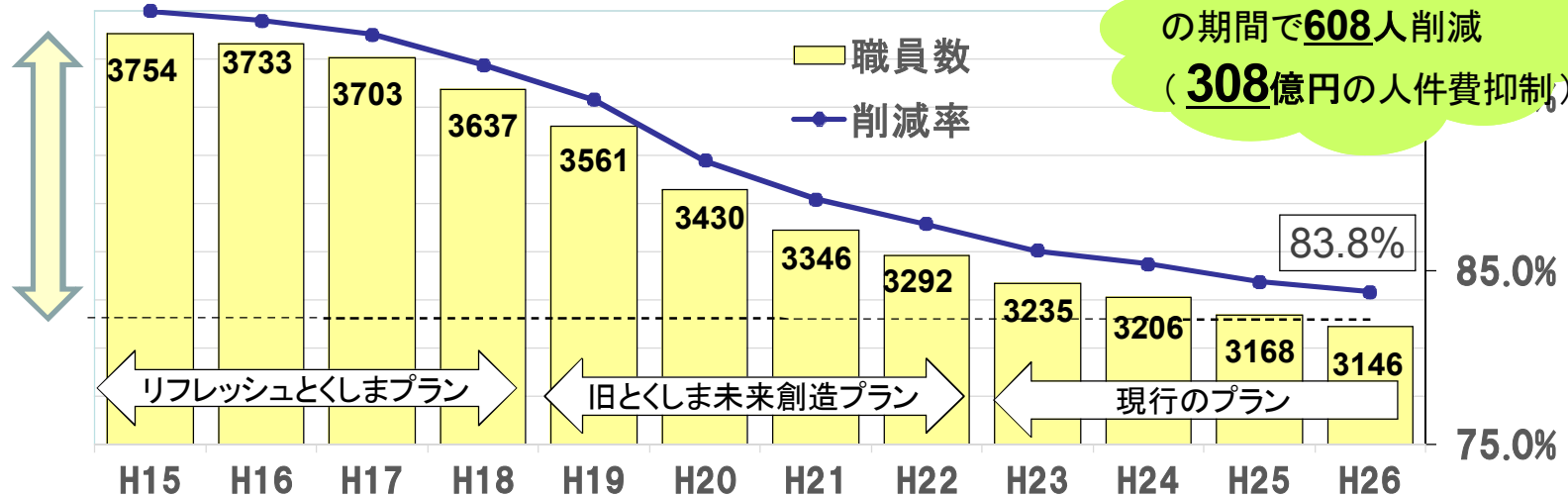
5 プラン改革項目の取組み結果

6 さらなる改革を目指して

1 「夢を支える経営体」づくり

(1) 時代を先取りする人事・人材システムの推進

◆徳島県職員数の推移 ～3000人体制に向けて～



H15.4～H26.4(11年間)
の期間で**608人**削減
(**308億円**の人件費抑制)

国を大幅に
上回る削減

H26/H15比
国△2.0%
県△16.2%
H26/H23比
国+0.1%
県△3.8%

削減するだけでなく、活かす行革！

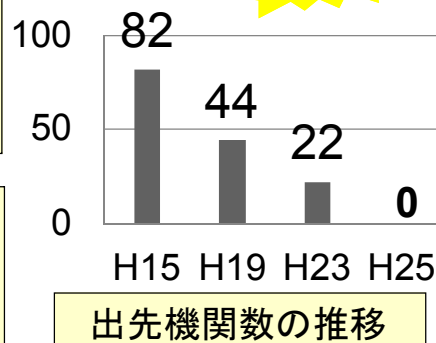
◆出先機関概念の完全払拭

全国初

「出先感覚の打破」
「全庁頭脳拠点化」
を図るために

H25実現

全機関の本庁組織化
(出先機関数ゼロ)



出先機関数の推移

全職員の知恵を結集し「県民サービス向上」

◆若者の雇用の場を確保

若者の「夢」と「希望」を徳島で実現

知事部局 新規採用枠	年度	H24	H25	H26	H27
人数		106	109	104	110

4年連続三桁

36歳以下の職員比率

長年減少傾向 H24反転

H23: 20.8% → H26: **21.8%**

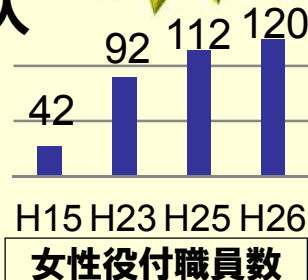
過去20年
で最大

(2) 「創造的実行力」を発揮する組織づくり①

◆意欲・能力ある女性職員の登用推進

・管理職に占める女性割合(全国順位)
H15: 3.1% (32位) → H26: 7.5% (11位)

・女性役付職員(課長補佐以上) **約3倍増**
H15: 42人 → H26: 120人



男女共同参画社会
づくりを率先垂範

◆人材交流の推進

～国、地域との人的ネットワークづくりを推進～

・国への割愛派遣(国身分)
H15: 2名 → H26: 11名 **5.5倍増**

H26新規
割愛派遣

・文部科学省
(オリンピック担当)
・消防庁

国の政策決定
の場に参画

・県信用保証協会、徳島大学に加え
新たに **県社会福祉事業団** と相互派遣

◆新規採用職員研修の充実

～次世代の県政を担う人材の育成～

H26

【新規メニュー】

- ・消防学校短期入校
- ・「防災士」資格**全員取得**
- ・茶道体験など



メニュー
拡充!

地域貢献能力、文化的素養の向上

H27

- ・「vs東京」発信力強化
- ・管理職員向け「イクボス」研修など

創造的実行力のさらなる向上

◆部局を超えた連携の強化

「課題解決」に向けた新たな体制整備

五つの「**統括本部**」を設置(H26)

緊喫の全国的な課題を全庁を挙げ重点解決

- ・食の安全安心対策
- ・対外発信戦略
- ・次世代人材育成
- ・六次産業化
- ・鳥獣被害対策

実行例



食品表示Gメン
の活動展開



ジビエ料理
の開発

など

(3) 「創造的実行力」を発揮する組織づくり②

◆全国を先導する「政策創造」の展開

21世紀の我が国の課題

経済社会活動の
広域化への対応

中央集権社会から
分権型社会への転換

H24 「政策創造部」の創設

- ・「広域行政」の戦略的展開
- ・「分権改革」をリード
- ・「政策提言」機能の強化

地方創生
本県提言が
多数反映!

具現化

事例

～政策提言の国施策への反映～

政策
提言

H26.11月

「地方創生」推進のための財源の確保を

反映

H27国当初予算案

「まち・ひと・しごと創生事業費(仮称)」

地方財政対策 1兆円

政策
提言

H26.12月

経済好循環のため住宅市場活性化を

反映

H26.国補正案、H27国当初予算案

「省エネ住宅に関するポイント制度」復活

補正、当初あわせ 905億円

◆継ぎ目ない災害医療体制の構築

喫緊の課題

巨大地震の発生
確率アップへの対応

平時・有事とも
助かる命を助けるために

H26 危機管理部の「災害医療体制」充実強化

- ・医師の「副部長」を配置
- ・「災害医療上席推進幹」を新設
- ・医療機関等との連携強化

全国に
先駆けて
展開

具現化

～戦略的災害医療プロジェクト～

○ 災害医療力の強化

- ・DPAT (災害派遣精神医療チーム) 創設

H26
8月

○ 要配慮者支援の強化

- ・「災害医療推進基金」創設 1億円

H27
1月

○ 情報共有基盤の強化

- ・「戦略的災害医療G空間プロジェクト」の推進

○ 情報共有基盤のさらなる活用

避難所ニーズの把握

- ・アマゾンジャパンと連携した
避難所ニーズ把握(ほしいものリスト活用)

自治体
初



(4) 意欲あふれる職場の構築

職員のモチベーション向上と働きがいのある職場づくりを推進

～進化する「業務改善」の取り組み～

H20～

「ボトムアップ」による「業務棚卸し」を実施
⇒「ひとり一改善」を推進

H24～

民間事業者による「県行政への貢献」を顕彰
⇒ 民間の知恵で施策効果増大

H26～

部局長主導による「業務改善」を推進
⇒「トップマネジメント」、「ボトムアップ」両面から

◆これまでの実績
(H23～26累計)

<業務棚卸し>

- ・報告件数 12,604件
- ・時間短縮 約16.5万時間
- ・削減経費 約1億3千万円

報告1万件の
目標達成



取り組み概要をプレゼン

H26の取り組み事例



【最優秀】

工事検査管理システムの構築
⇒ タブレットへの即時入力で
業務効率化！

H26とくしま業務改善貢献賞

- ・徳島インディゴソックス10周年記念事業
- ・徳島県認知症コールセンター事業
- ・「すだちくん」魅力アップ事業

【各部局の主な取り組み】

- ・危機管理部
給料日を家族継続計画を考える日に設定
- ・経営戦略部
「この業務やめます、見直します宣言」
- ・商工労働部
「サマーナイトトーク」幹部と若手職員の意見交換

優れた取り組み
積極的に紹介

全庁・全職員
で共有

業務改善効果
波及

行革意識
浸透

(5) 外郭団体の見直し

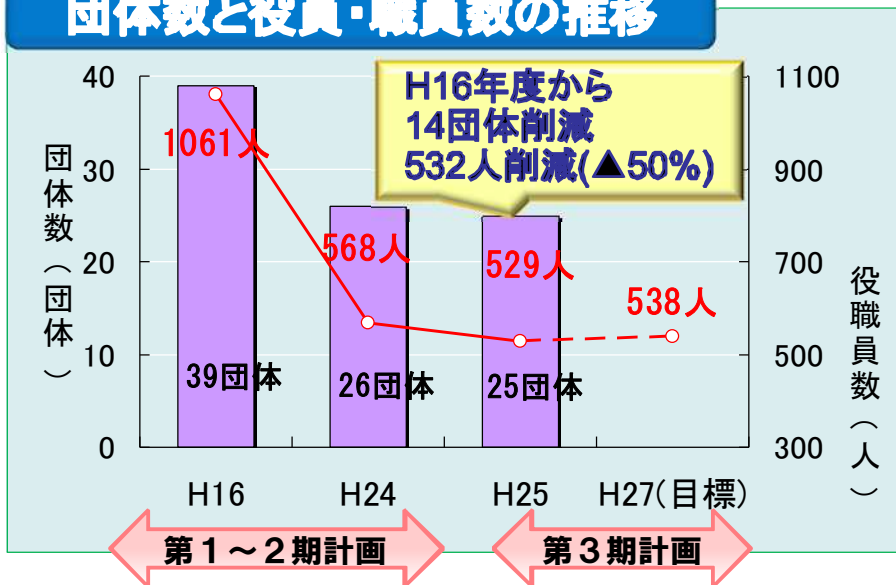
第1期「経営改善計画」(H17~21)
第2期「経営改善計画」(H22~24)

第3期「経営改善計画」(H25~27)

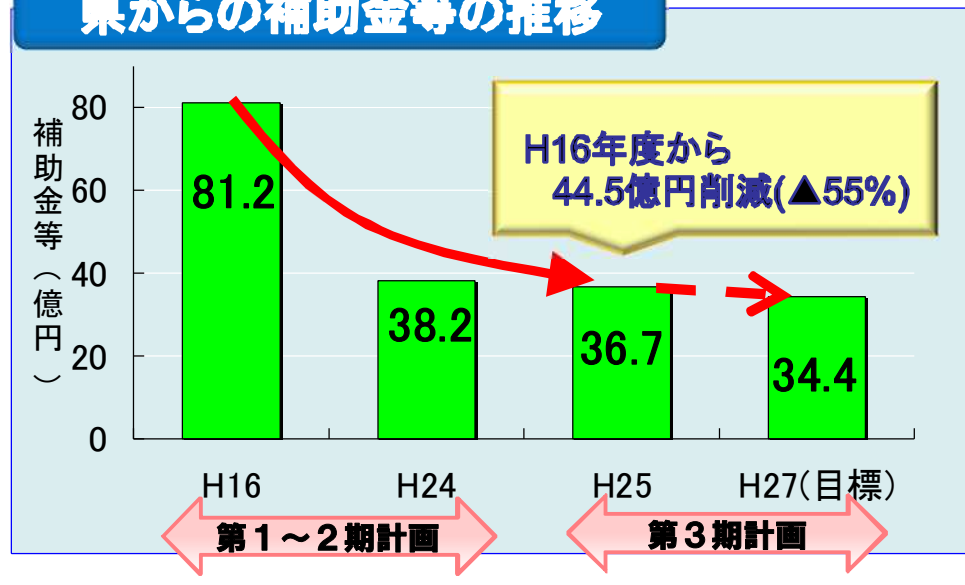
団体数・役職員数・県の関与などで
大幅な『経営のスリム化』を達成！

- ・効率的・効果的な経営の推進
- ・点検評価の充実
- ・情報公開のさらなる推進
- ・公益法人改革への対応

団体数と役員・職員数の推移



県からの補助金等の推移



中長期的視点に立った経営健全化！

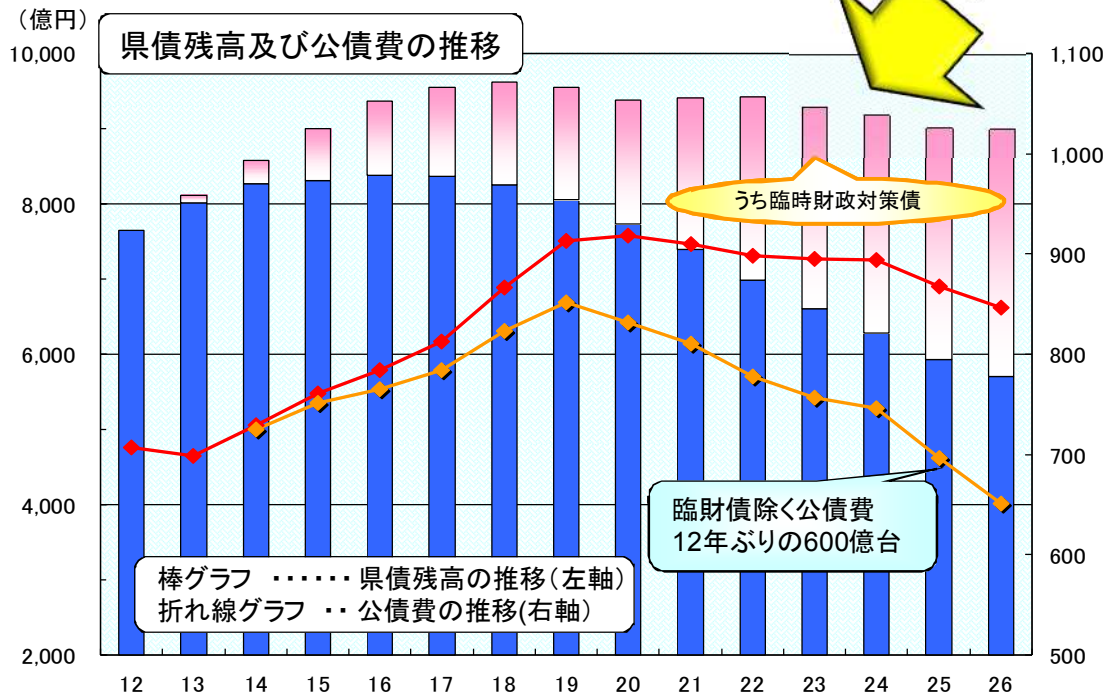
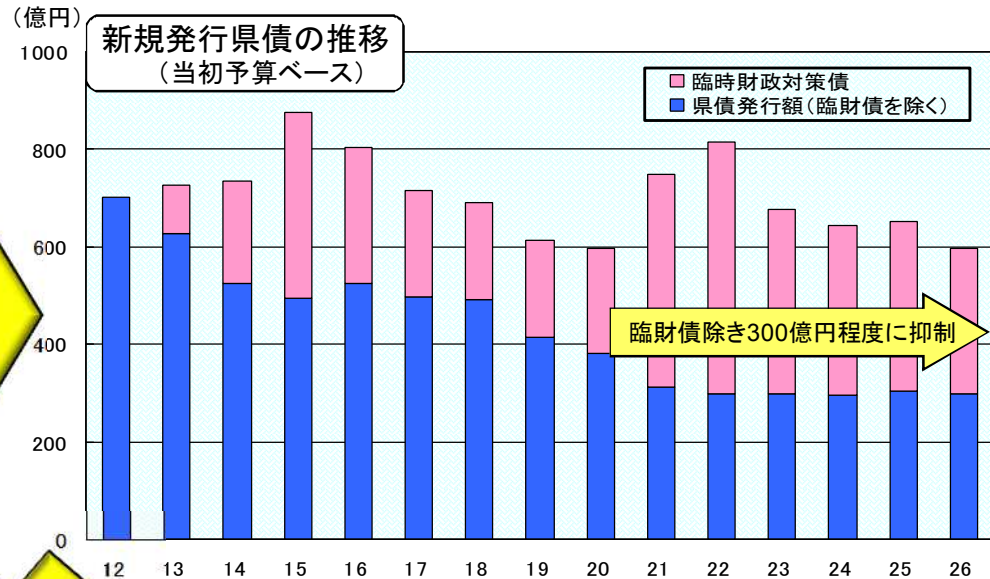
機動的、効率的な経営で「県民の暮らしを支える事業」を展開！

2 「未来志向の財政構造」づくり

(1) これまでの取組み成果

「持続力ある財政構造」を確立するため、
財政健全化に向けた取組みを推進！

◇「公債費のさらなる縮減」のため、
投資的経費の重点化などにより、
「新規発行県債」の抑制基調を堅持！



財政構造改革基本方針(H23~25)

の改革目標はすべて達成！

◇「公債費」の縮減

H26までに600億円台

⇒ H25当初で696億円

◇「収支不足額」の解消

H23~25で130億円

⇒ 164億円の収支改善

◇「財政調整的基金」残高の充実

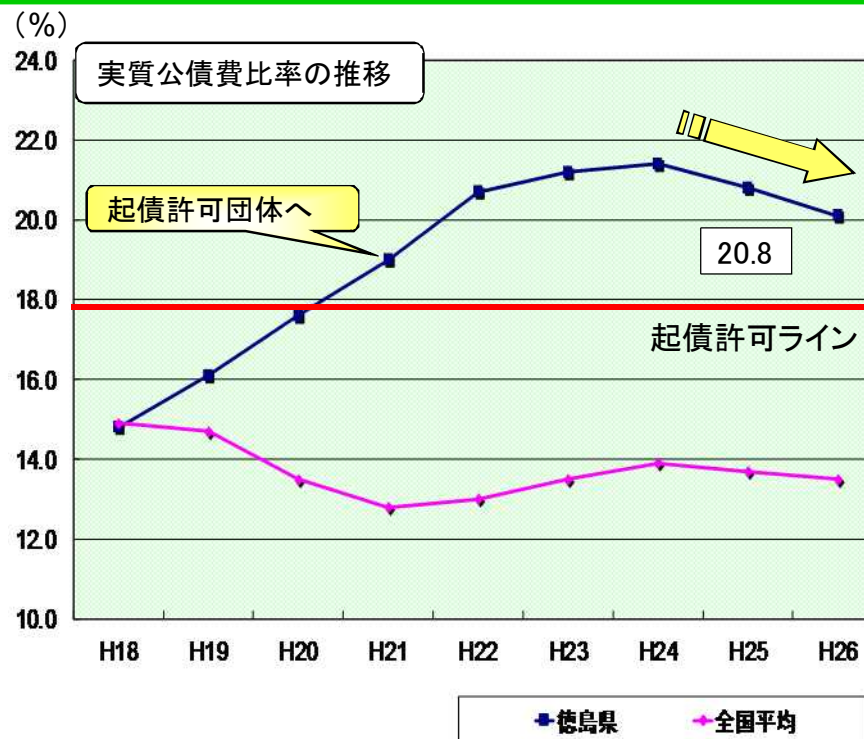
H26末までに321億円

⇒ H25末で326億円

(2) 新しい財政構造改革基本方針 (H26~28)

①改革の方向性

- ◇ バランスのとれた財政構造改革
- ◇ 歳入確保と歳出改革の総合的な推進
 - ・ 外部資金等の積極的活用
 - ・ 組織横断的な未収金削減対策
 - ・ 公共事業の大胆な質の転換
 - ・ 固定化・既得権益化した事業の検証と見直し
- ◇ 外部有識者からなる会議の活用
- ◇ 格付け「全国上位クラス」の堅持
- ◇ 財政状況の公表 など



②改革目標

◇「起債許可団体」からの脱却

実質公債費比率: H25 20.8% → H28までに 18.0%未滿

◇「公債費」・「県債残高」の縮減

公債費: H24 736億円 → H28までに500億円台

県債残高: H24 6,285億円 → H28までに5,500億円台

◇「財政調整的基金」残高の充実

財政調整的基金残高: H24末 250億円 → H28末までに600億円

※一般会計決算ベース、臨時財政対策債を除く

(3) 新たな歳入確保の展開

ふるさと納税

約2億1,600万円
(H20～25累計)

H25 寄附金総額 約4,300万円 **全国9位**

活用

【寄附者目線のメニュー】

- ・防災、減災対策
- ・地元プロスポーツ振興など

ふるさと徳島
魅力アップ

○ H27～制度拡充を活かし徳島ファン拡大を推進
→政策提言の実現:「確定申告が省略可能に」

広告事業

ネーミングライツの導入推進
H22 8か所 ▶ H26 14か所

<新規>

H23	神山森林公園
H24	中央テクノスクール多目的ホール 昭和町一丁目歩道橋
H25	元町・新町橋二丁目歩道橋
H26	大神子テニスセンター



<H27.3～新名称>

大神子病院
しあわせの里
テニスセンター

広告料 収入 H19～22 約1.9億円
H23～26 約3.4億円

約1.8倍増

未利用財産の有効活用

新たな貸付手法の導入

- **民間実需**に積極的に貸付
 - ・メガソーラー : 3か所
 - ・コールセンター : 1か所 など



コールセンター
(美波庁舎)

○ 従来: **売却** 前提

定期借地も含めた
貸付も可能に!

公募による貸付
(H27.1公募開始)

四国4県では初

県税収入の確保

県税 徴収率 **7年連続 (H19～25)** **全国トップテン** H25は **全国8位**

STOP
滞納!



「個人県民税対策」をさらに加速

「住民税担当設置」(H26)

「地方税徴収対策連絡会議」創設(H26)
「県下一斉徴収強化月間」を設定

「徳島滞納整理機構」

H25 徴収額 約3.2億円
徴収率 51.8%

全国の
機構中
第1位

3 「新しい公共サービス」づくり ～新たな行革手法～

(1) 民間活力の積極的導入

◆指定管理者制度の導入推進

導入
拡大

H18(初年度)
34施設

H26
44施設

○提供サービスの充実(H27予定)

- ・外国人向け案内パンフ作成(渦の道)
- ・AED設置(県営駐車場) など

○行政コストの縮減

- ・制度導入前のH17年度と比較し
9年間で約70億円の縮減効果

県民の利便性向上



幸町駐車場
自動精算機導入により
従前13時間営業が
H24から24時間営業

新規導入



旧吉野川流域下水道
H25～指定管理を導入し
「休日の施設案内」
「小学校の出前講座」など実施

◆PFI手法の導入推進

～民間の資金、経営ノウハウを活用(3施設で展開)～

全国初

H22

既存施設への
PFI導入

青少年センター

・インア運動場設置



H25 オープン

知の拠点

農林水産総合技術支援センター

- ・「研究・普及・教育」の機能統合
- ・「アグリビジネススクール」の新設

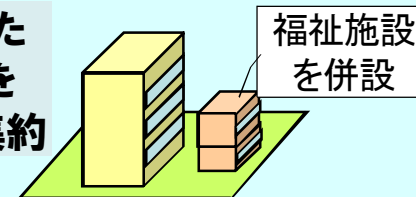


H26 オープン

県営住宅集約化事業

- ・入居者管理を含めた一括発注
- ・高齢者の安全、防犯サポート充実

老朽化した
12団地を
3団地に集約



(2) 新たな行革システムの推進

◆ 公共施設の戦略的な長寿命化の推進

既存ストック有効活用先進県

として全国をリード

・ 思い切った用途転換

旧空港ビル → 運転免許センター

H26
1月

・ 民間ノウハウ・資金の積極的活用

青少年センターPFI、県営住宅PFI

・ 長期的な視点に立った施設整備

県立学校耐震化、橋梁長寿命化



さらに
進化!

- ・ 公共施設等の老朽化
- ・ 人口減少の将来推計
- ・ 依然続く厳しい財政状況

徳島ならではの「総合管理計画」を策定

⇒ 本県はH26年度中に策定

→ 県内市町村の取組みを先導

⇒ 新たな数値目標設定

→ 施設の長寿命化 プラス一世代以上

→ 既存ストック有効活用件数 2倍以上 ほか

最適な施設の配置、国土強靱化に!

◆ テレワークの推進

3つの実証実験を展開!

在宅勤務

H26

■ 育休からの職場復帰を支援

- ・ 電子掲示板による情報提供
- ・ メルマガによる県からの情報発信
⇒ 毎月19日・いくじの日

さらに
進化



H27

■ 「在宅勤務」導入に向けた取組みを推進!

サテライトオフィス

■ 県庁版サテライトオフィス設置

- ・ 移動時間等の効率的活用
- ・ 災害時等の業務継続
⇒ H27.1 図上訓練で活用



■ サテライトオフィスのさらなる拡充!

モバイルワーク

■ モバイルワークの実証

- ・ モバイル端末 (50台) の導入
- ・ 食品表示調査、営農支援等で活用 (30事業)



■ モバイル端末の充実・更なる活用!

4 徳島発！「県民目線の処方箋」づくり ～連携・協働～

(1) 徳島発！経済成長戦略モデル①

◆地域商品券事業の展開

アベノミクス
3本の矢

地方では景気回復の
実感は、まだまだ・・・

H26.4消費税増税を
迎え撃つ対策が急務

H26 プレミアム付き地域商品券事業



1万円で千円券×11枚 **10%お得**

- ・商工団体、市町村と連携
- ・総額**33億円**、県内約**4,000**店舗参加

平均消費性向（総務省「家計調査」）

	H26年 3月	4月	5月
<徳島市>	101.7	→ 134.9	→ 113.3
<全国>	107.2	→ 88.4	→ 91.3

H26.12.27閣議決定 「緊急経済対策」として、国が「徳島モデル」を採用！

◆とくしまグローバル戦略の加速

日本再興戦略
(2020目標)

6次産業市場規模現状
1兆円 → **10兆円**

輸出促進
6次産業化

推進が
不可欠

相手国の輸出条件への対応

EUへ生果実を初輸出！

検疫

栽培マニュアル策定
実証栽培、輸送試験

輸出
開始

H26

フランスへ
ゆず240キロ



ハラール対応の推進

H26.11月

「JAPAN HALAL EXPO」に出展

パキスタン大使
にも好評

徳島県ブース設置

- ・県産鹿肉（ハラール対応）提供
- ・県産認証商品（ゆずジュース等）出展



6次産業化を支える人材育成～ステージアップシステム～

●徳島大学との連携

- ・農工商連携センターの設置
- ・生物資源産業学部(仮称)設置へ！

●高校における人材育成

- ・吉野川高校「食ビジネス科」農商連携
- H26 つるぎ高校「地域ビジネス科」工商連携

●農林水産総合技術支援センターの取組み

- ・農大の専修学校化 → 徳大への編入も
- ・アグリビジネススクール（大学院機能）

(2) 徳島発！経済成長戦略モデル②

◆ICTを活用した集落再生の推進

とくしまサテライトオフィスプロジェクト

「全県CATV網」完成！

世帯普及率(H26.3末)
88.3% **全国一**

H24.3～首都圏のICT企業を対象に本格展開

県内4市町に**26社**が進出！

➡ **52名の地元雇用**を創出(H26.12)

【人口動態(神山町)】

S45年以降、初の「社会増」が「社会減」を上回る



本県の強みを活かした
「攻めの集落再生」
全国が注目！

◆自然エネルギーの積極的導入

太陽光の活用 ～全国トップクラスの賦存量～

県営では
西日本初



県企業局メガソーラー
H25運転開始

徳島モデル

災害時には非常用電源に！



動く蓄電池



避難所に
電力供給

さらに

水素の活用

水素エネルギーの
導入・普及に向けた
「協議会」を設立(H27.1)



自然エネルギーの
「地産地消」を推進！

◆LED王国・とくしまの推進

H17 「LEDバレイ構想」策定

関連企業数 10社

「企画・開発」から
「性能評価」までを
ワンストップで支援



LEDサポートセンター開設(H25)

H19～前期行動計画

H22 100社集積達成

歩行者用信号灯器(H25 100%)

- ・節電・省エネ
- ・コスト節減
- ・安全性確保

5年間で
約2,300万円
節減効果



半年前倒し

H23～ネクストステージ行動計画

H27.2月現在 123社

全国初

ブランド戦略

「LEDと言えば徳島」

H26ノーベル物理学賞で加速

(3) 徳島発！安全安心実現モデル①

◆地域防災力の向上

国土強靱化地域計画

H26.6
国のモデル団体に指定

H26年度中に策定

複合災害 南海トラフ地震
豪雨、豪雪

推進エンジン
大規模災害
対策基金

ハード・ソフト
一体となった
防災・減災対策

自主防災組織率の結成を促進

全国21位 H20.4.1

本県72.1%
全国71.7%

全国4位 H26.4.1

本県92.7%
全国80.0%



防災訓練
の実施

大規模災害を迎え撃つ迅速な対応

震災対策基金 H24

地震、津波対策を推進する
財源が見える形で確保

豪雨、土砂災害
など頻発

対象拡大

複合災害への備えが急務

大規模災害対策基金 H26 残高50億円

震災以外の大規模自然災害への
対策にも用途を拡大
(豪雨、土砂災害、大雪など) **大規模自然災害から
県民の命を守る**

Join Town システム

全国初の実証 H25

H25.12～県下全域サービス開始

「テレビによる「災害・高齢者対策」

平時 TVの視聴ログを使った見守り、生活支援

発災



避難



共通IDでチェックイン

普段使いのTVによる避難促進、
避難状況の確認が可能！

◆障がい者が活躍できる場の拡大

障がい者による高齢者生活支援

箸蔵
モデル

- ・買い物支援、見守りを実施

障がい者

- ・工賃アップ
- ・社会貢献

高齢者

- ・利便性向上
- ・暮らしの安心



H25～三好市箸蔵地区で実施 **全県展開**

H26 県東部地域、南部地域でも新たに実施

⇒ふれあい・交流の場として生活に潤い！

(4) 徳島発！安全安心実現モデル②

◆「県民医療・最後の砦」 県4病院体制の強化



ドクヘリによる広域救急医療の充実
 ・府県域を越えた運行
 ・徳島ヘリは関西広域連合に移管

◆三好病院 《総合MZ西部センター》 **H26.8 開院**

- ・免震構造の「高層棟」完成
- ・フルセットのがん治療体制
- ・四国中央部の中核拠点へ



◆中央病院 《総合メディカルゾーン本部》 **H24.10 開院**

- ・「徳島大学病院」との連携
- ・高度先進医療の充実



◆海部病院 《総合MZ南部センター》 **H25 着工**

- ・全国初となる「高台移転」
- ・免震構造、ツインヘリポートの整備

◆地方独立行政法人 徳島県鳴門病院 **H25.4 スタート**

- 都道府県初の社会保険病院引き受け
- ・県北部＋香川東部・淡路の中核病院に

◆食の安全安心体制の整備

わかめ加工業者における

- ・適正な食品表示・加工履歴の透明化

推進のため

鳴門わかめ認証制度スタート **H26 11月**

食品表示Gメンによる書類現地調査

適合

県から「認定証」交付

全国初



商品には
認定シール

信用・信頼の確保 ブランド力向上

◆発達障がい者支援「徳島モデル」の進化

H24 小松島市に
発達障がい者総合
支援ゾーン整備

県西部からの
利用者数
H23→H25 6.5倍

全県的な
体制強化が必要

H27 開設予定 ハナミズキ・西部サテライト

旧美馬商研修会館を活用

地域の関係機関との連携

池田支援学校美馬分校

西部テクノスクール

地元医療機関

福祉・教育・医療・就労「四位一体」の総合支援

(5) 徳島発！宝の島実現モデル①

◆本四高速・全国共通料金制の実現

◆本四高速（神戸淡路鳴門ルート ほか）

割高な料金設定 **平成の大関所**

しかも、これまで546億円もの出資！

◆関西広域連合で決議、
国に対して政策提言
公平かつ利用しやすい
料金体系の導入

平成26年4月～
全国共通料金制導入
出資も終了！

出資終了を
目に見える形
にするため

新設

道路整備利用促進基金

従来の出資相当額
(20億円)を積立

道路ネットワーク整備

高速道路利用促進

南海フェリーと連携
キャンペーン実施 など

県民の利便性
向上に活用

◆輝く“徳島の女性”活躍の推進

～H26年度 女性活躍元年の幕開け～

全国のトップランナー

- ・ 県審議会等の委員 50%
- ・ 労働者に占める女性の割合
 - 管理職に占める割合 17.4%
 - 起業家に占める割合 15.2%
 - 働く人に占める割合 45.2%

7年連続
全国1位

全国
トップテン

さらに
推進

働く女性応援ネットワーク会議

H26.
10月

連携：事業者、学識経験者、行政

- ・ キャリアアップ講演会
- ・ 再就職支援スキルアップ講座 など



キャリアアップ講演会

女性活躍推進フォーラム

H26.
11月

- ・ 女性の活躍を支援する意識醸成
- ・ 防災、まちづくり参画を促進

8日間延べ1,400人参加



男女共同参画立
県
とくしまづくり表彰

H26. 9月
補正

活躍の加速化に向けて

H27.3月
開催予定

⇒ 県内企業経営者を対象としたトップセミナーなど

(6) 徳島発！宝の島実現モデル②

◆「Tokushima英語村」プロジェクト

牟岐町で疑似留学体験

H26
8月

- ・ 県、大学生、牟岐町が一体となって実施
- ・ 英語に囲まれた環境で「普段使いの英語体験」

HL△B
SUMMER SCHOOL

県内外高校生

外国人大学生

国内バイリンガル大学生



少人数セミナー



対話型フォーラム

来年度も開催予定

◆「3大スポーツ大会」への対応

3年連続で
開催決定！

2019 ラグビーワールドカップ
2020 東京オリンピック・パラリンピック
2021 関西ワールドマスターズゲームズ2021

またとないチャンスを
最大限活用！

関西WMG県内準備
委員会を発展的改組

H26
10月

「国際スポーツ大会県内準備委員会」

- ・ 官民一体にて誘致
- ・ さらなる相乗効果

キャンプ地

開催会場

文化 観光

国際交流

徳島の魅力を世界に発信！

◆東京一極集中の打破

～徳島県の「共通コンセプト」を全国に発信～

数億円の
宣伝効果とも

徳島は宣言する
VS 東京

「若手職員中心の
タスクフォース」
「世界的な映像作家」
がコラボレーション

地方同士の微差を競い合うPR合戦ではなく、
圧倒的な差がある「東京」を比較対象に設定

大都市の象徴・東京にない価値を、
「徳島の魅力」として全国へ発信！

超高齢化はじめ東京に顕在化する課題を
「課題解決先進県・徳島」が先んじて解決！

日本全体の魅力アップ・再生へ！

「地方の魅力」発信による
東京在住者の「気付き」

東京から地方への
「地方回帰」を誘発

「魅力アップした地方」と
東京が「切磋琢磨」

5 プラン改革項目の取組み結果

とくしま未来創造プラン(H23～26)

～徳島からの新たな挑戦～

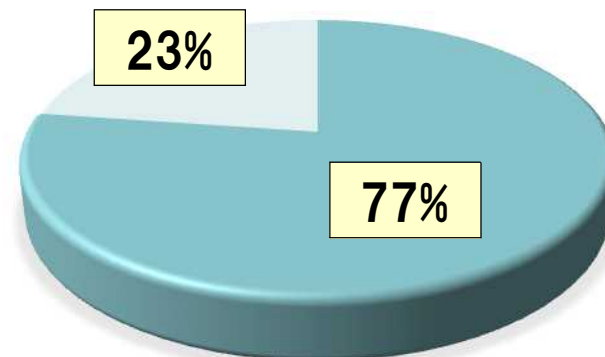
- ◆ 5つの「重点項目」について
233の「取組み目標」を設定し改革を推進

◆ 庁内担当部局による自己評価結果

「取組み目標」ごとに以下の区分により評価

- A 目標達成・成果を上げている項目
- B 目標達成に向け概ね順調に推移している項目

目標達成に向け概ね
順調に推移している



目標達成・成果を
上げている

	重点項目	取組み 目標数	評 価	
			A	B
I	「未来志向の財政構造」づくり	38	27	11
II	「夢を支える経営体」づくり	49	43	6
III	「新しい公共サービスの仕組み」づくり	86	71	15
IV	「県民目線の県政」づくり	26	21	5
V	「活力みなぎる職場」づくり	34	19	15
	計	233	181	52

各重点項目ごとの主な成果

	重点項目	主な成果	さらなる課題
I	「未来志向の 財政構造」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・県債発行の抑制 ・財政調整的基金残高の充実 ・総人件費の抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告事業の推進 ・ふるさと納税の推進
II	「夢を支える 経営体」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000人体制に向けた取組推進 ・出先機関の頭脳拠点化 ・外郭団体の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成・能力開発の推進 ・徳島ゆかりの人材との交流推進
III	「新しい公共サービスの 仕組み」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・トクトク事業の推進 ・実証実験・モデル事業の推進 ・PFI事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の有効活用の推進 ・地方分権改革の推進
IV	「県民目線の 県政」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した情報公開の推進 ・とくしま目安箱の設置・運用 ・県民との対話事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力の強化 ・県HPの充実
V	「活力みなぎる 職場」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひとり一改善」運動の推進 ・学校情報化の推進 ・新たな人事交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの推進 ・ICTのより一層の利活用

6 さらなる改革を目指して

H23~26 とくしま未来創造プラン

～新時代を切り拓く「処方箋」(徳島モデル)の創造・発信～



サテライトオフィス



本四高速の全国共通料金化



10%プレミアム付き地域商品券

さらなる改革へ

H27~

- ・ 県民目線に立った「不断の行財政改革」の推進
- ・ 課題解決先進県として「地方創生」を先導



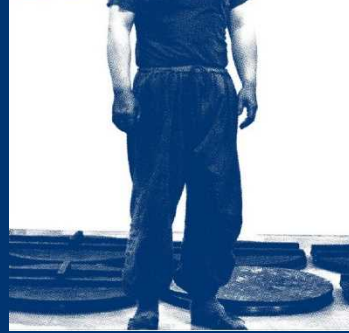
進化する
とくしまマラソン

「一步先の未来」を県民の皆様と共に

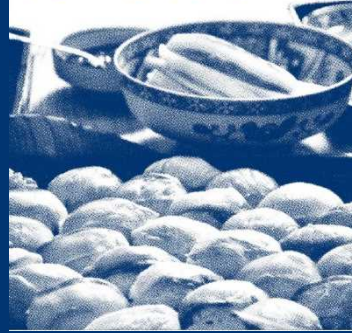
どこで踊ったって
ほれが
阿波おどりじゃわ。



どなんしても
こんな青
出せんたる。



ファーストフードってな
危ないもんでなく
うまいもんじゃわ。

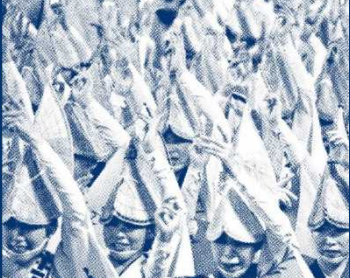


ここ、
Wi-Fi 飛んどのでよ。



徳島は宣言する VS 東京

自撮り<踊り。
いいね!が
欲しかったら
踊るんじよ。



ゼニのないヤツあ
俺ンとこへ来い。
が、ホンマにある町。



家賃2万円。
改装自由。
インターネット完備。
つまり、
何でも、できるでよ。



定年して
ぶらぶらしとったら
ほうけるでよ。

